

3 南アメリカ（ボリビア）産の化石（大野透太郎氏収集化石）

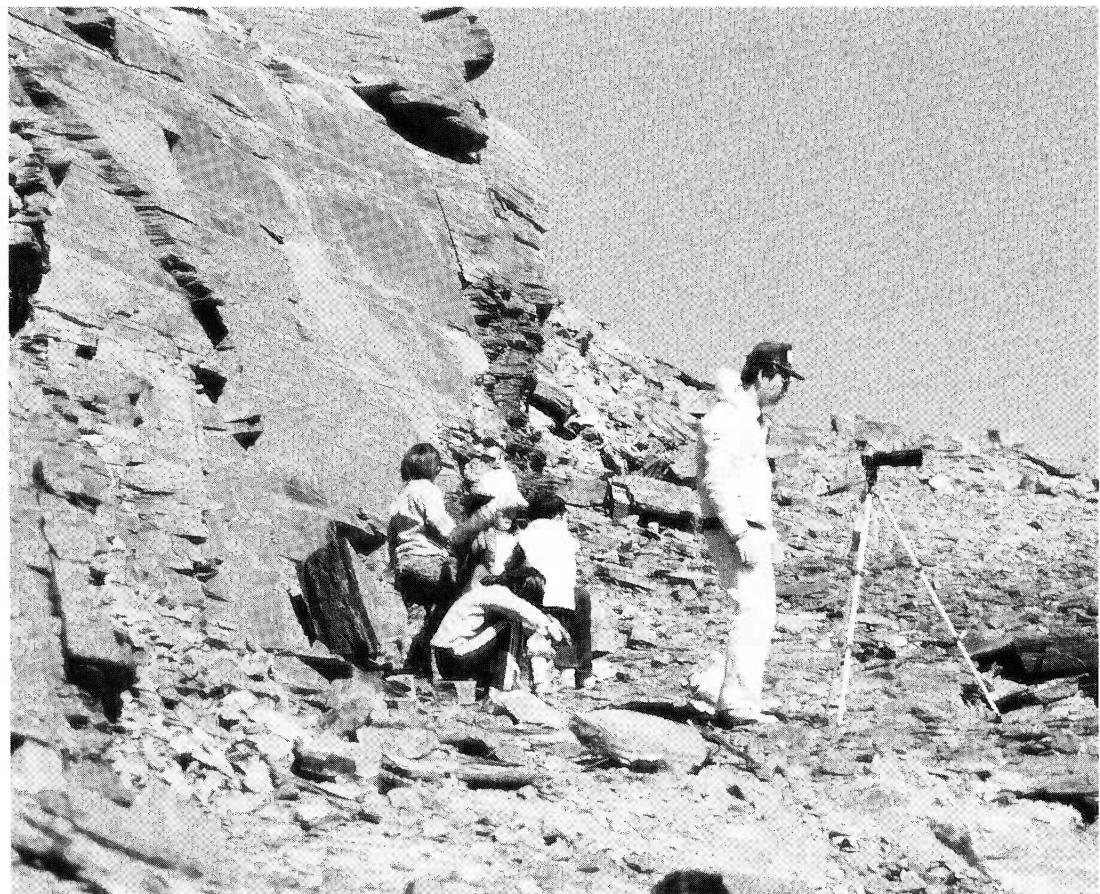
当館に収蔵されているボリビアの化石は、大野透太郎氏がボリビア日本国大使館勤務の35年間に収集されたもので、小牧勇藏氏のご尽力により本県に寄贈されたものです。

その産地は、ボリビア共和国のコチャバンバ州からラパス州に及んでいます。

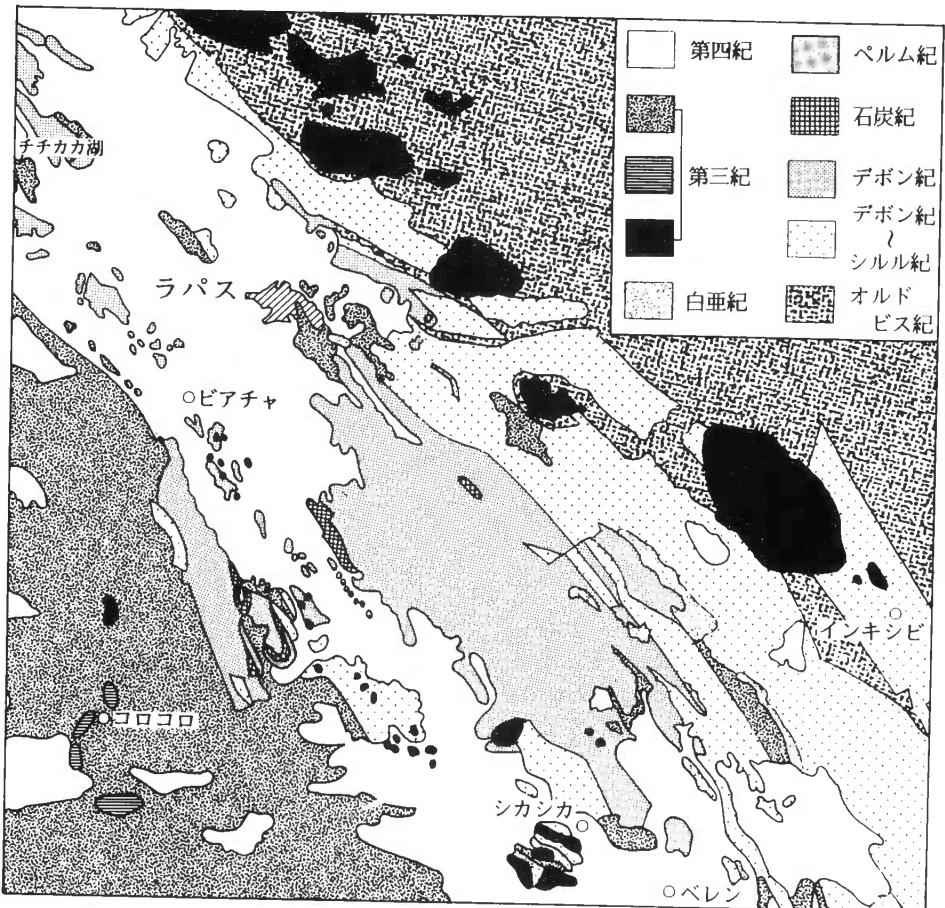
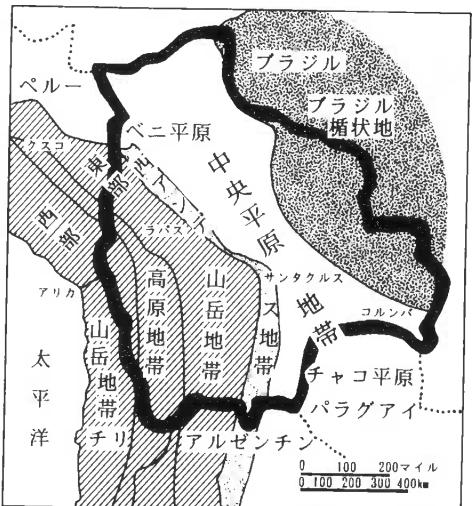
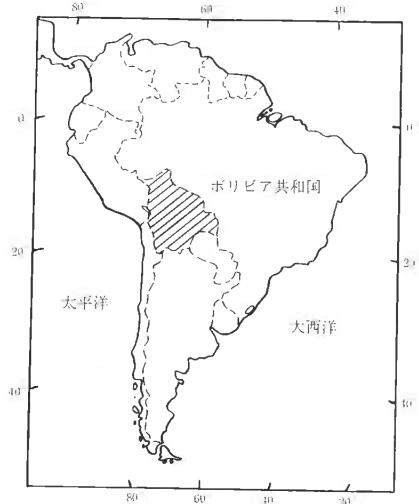
ボリビアの地形は、アンデス地帯、亜アンデス地帯、中央平原地帯、ブラジル楯状地帯に大別されます。化石の産出するのは、アンデス地帯にふくまれ、この地帯はさらに西部山岳地帯、高原地帯、東部山岳地帯とに細分されています。この東部山岳地帯は層厚6000mにおよぶ古生代の地層が分布し、その地層から化石が産出します。

地質的には、ボリビアは先カンブリア代のブラジル楯状地の西部にあたり、先カンブリア代の地層から第四紀の地層まで分布しています。先カンブリア代～古生代の地層は海成堆積物からなり中生代以降は陸成堆積物からなっています。

南米古生代の地層からは、三葉虫類、頭足類、腕足類、貝類、サンゴ類、ウミユリ類などが産出し、とくに三葉虫の種類と個体数は豊富で、南米古生代の海生動物を研究する上で貴重なものです。



化石採取現場（チャカルタヤ 5,200m）



ラパス周辺の地質図

ラパスの南東方向にのびるデボン紀の地層から、多くの化石が産出しています。

(ボリビアの地質図, 1978より)

(1) オルドビス紀の化石

三葉虫の化石



▲*Hypermekaspis* cf. *inermis*
(胸の体節数がたいへん多い)
(長径9cm)



▲*Trialetus* cf. *rectifrons*
(長径9.2cm)



▲*Hoekaspis* spp.
(長径16cm)



▲*Hoekaspis* spp.
(長径12.5cm)

(幅広い体で、胸の体節数が少ない。頭刺がよく発達している)

腕足類の化石



(長径12cm)

(2) デボン紀の化石

三葉虫の化石



(長径6cm)



▲Metacryphaeus caffer REED▲
(尾の先端は四角い)

(長径5cm)



(長径10cm)

▲Metacryphaeus caffer REED var.
(尾の中葉は高く、体全体にイボがある)



(長径3.5cm)



(長径4.7cm)



(長径3cm)

▲Metacryphaeus giganteus
上……頭部、下部……尾部
(尾の中葉は幅広く、低い)



(長径5.5cm)

▲Metacryphaeus limabambae
上……頭部、下部……尾部
(尾の中葉は幅広く、高い)



▲*Phacops orurensis* (BNARELLI) var. ▲頭部
(長径2.7cm)



(長径2.2cm)



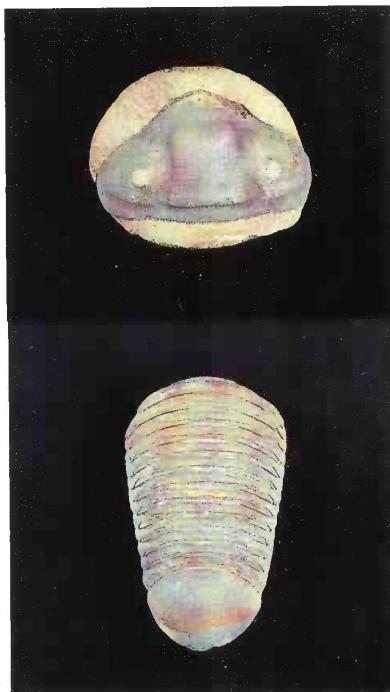
▲*Phacops orurensis* (BNARELLI) ▲頭部
(長径5cm)



(長径4cm)



▲*Phacopina devonica* (長径3.7cm)
頭部にはほとんど装飾はなく、頭角が
とがっている。胸から尾へしだいに幅
が狭くなり、尾の先はとがる



▲*Trimerus dekayi*
上……頭部，下……尾部



▲*Francovichia francovichii* (直径4.8cm)

(成長するとかなり大型になる。)

→
(長径4.0cm)



→
(長径5.5cm)

▲*Bouleia dagincourti*

(大きなイボがたくさんある)

上……頭部, 下……尾部

(長径3.7cm)



(長径4.5cm)

(長径2.2cm)

▲*Andinopyge spinolosa*

上……頭部, 中……胸部,

下……尾部



→
(長径4.8cm)



→
(長径4.2cm)

▲*Asteropyge unispina*

上……頭部, 下……尾部

(頭部の真ん中後端の長いトゲが
特徴)